

教科 国語 科目 国語

授業科目	現代文B	単位数	3単位	履修形態	必修
履修学年	高校3年生	コース	普通科		
教科書	新編 現代文B (大修館)	副教材	教科書準拠ノート 高校生の語彙と漢字		
授業概要	2 学年 6 単位で履修する現代文Bの後半の3単位である。高校2年次の正しい読解学習を足場とし、作品の全体像を捉えながら内容をまとめる力を養成していく。また作品に対する意見が述べられる発言力を磨いていく。読解のために重要な語彙力は課題として段階的に学習を進めていき、漢字検定準二級取得を目標とするなど、大学入学共通テストや各筆記試験に取り組める学力を養成する内容としている。				
授業内容及び到達目標		単元	目標	教材	
	1 学期	伝統を受け継ぐ名作を読む	<ul style="list-style-type: none"> ・「ひかりのどけき春の日に」より筆者の意見と、日本人の桜に対する情感を読み比べる。ことば、音楽、住居から「間」を考える文より「間」に対する日本人の感性を一般化してとらえる。 ・「こころ」を時系列で整理して論理的に読み解きながら人間のこころについて探る。 ・時代小説の主人公の小さな反発と自立の芽をとらえ、若者の心として一般化する。 	ひかりのどけき春の日に こころ	
	2 学期	社会に生きる現代を考える	<ul style="list-style-type: none"> ・人生と人の社会的役割について述べた二つの評論文から「人は何の為に生きるのか」について、争点を踏まえた議論の方法を学ぶ。 ・現代文化によって変わる人間の生活や思想パターンについて、現象の理解と解釈の方法を学ぶ。 ・読書の幅を広げ、社会や仕事、人生について考えるきっかけにする。 ・具体的と筆者の主張の関係を読み取り、自分の表現に生かす。 	幸せの分量 政治の基本は民主主義 敬語への自覚、他者への自覚 家族化するベット	
	3 学期	読書の広場	<ul style="list-style-type: none"> ・「星の王子さま」など、映像化された著名な文学作品を学び、文章からの読み取りや、修辞の鑑賞法を学ぶ。 ・ファンタジーを読む意義を考え興味を示していくことや、作品を読んで感じたことを鑑賞し、的確に捉え自己表現に繋げていく。 	星の王子さま	

教 科 国 語 科 目 古 典 B

授業科目	古典 B	単位数	2 単位	履修形態	必修 ・ 選択
履修学年	高校 3 年	コース	普通科		
教科書	新編 古典 B (大修館)	副教材	教科書準拠ワーク 図説 国語要覧 ・ さくらさく古文単語 解析古典文法		
授業概要	2 学年 4 単位で履修する古典 B の後半の 2 単位。2 年間で習得した古典文学の基礎力を用いて、作品の全体像を正しくつかみ、それを踏まえた上で細部を正しくとらえる読解力を身に付ける。全体像をとらえ、細部の読解につなげる技術で大学共通テストに力を発揮できるようにする。				
授業内容 および 到達目標		単 元	目 標	教 材	
	1 学 期	随筆・歴史物語	王朝時代の文学を古文読解の基本ポイントを踏まえて細部に注意を払いながら読む。		
		日記への招待	作品の執筆動機や態度と関連させ、作品ごとの読解ポイントに合わせてより深い読み取りをする。		
		漢詩	名作を味わい、表現の特徴について理解知るとともに、日本文化に与えた影響を考察する。		
	説得の技 (逸話)	為政者への説得に用いられた中国の逸話を、その視点から捉えて論点を読み取る。			
2 学 期	英雄の物語	中国古代の豪快な描写と人物像とを味わう			
	人間の本質 愛の始まり	源氏物語で既習の古文の読みの技術を駆使した読みの実践学習。			
3 学 期	入試問題演習	近世の人々の人生観恋愛観を知る 論語とは違う中国古代の思想を理解する 等			

教 科 地歴公民

科 目 日本史 B

授業科目	日本史 B	単位数	2 単位	履修形態	必修 ・ 選択
履修学年	高校 3 年 I 組	コース	普通科		
教科書	詳説日本史 B 改訂版 山川出版社	副教材	ワーク・資料集		
授業概要	日本の歴史を諸資料に基づき、地理的条件や世界の歴史と関連付けながら理解させ、現代の諸課題を歴史的視点から考察し、国際社会に主体的に生きる自覚と資質を養う。				
授業内容 および 到達目標	単 元	目 標		教 材	
1 学 期	第 9 章 近代国家の成立	国際社会に組み込まれるという国際環境の変化に着目して、開国から明治維新に至るまでの過程を社会、経済面での変化と合わせて考察する。		教科書 資料集 ワーク	
		立憲国家の成立から日露戦争に至るまでの一連の流れを考察する。		教科書 資料集 ワーク	
2 学 期	第 10 章 二つの世界大戦 とアジア	第一次世界大戦前後の政治の動向及び対外政策の推移について、政党政治の発展や日本の中国進出の状況を踏まえて考察する。その後の国際社会の状況についても考察する。		教科書 資料集 ワーク	
		日中戦争の勃発から太平洋戦争の突入にいたる過程について、国民生活の変化や諸統制に着目して全体主義的な国家体制の進展を考察する。戦後の世界秩序についても考察する。		教科書 資料集 ワーク	
3 学 期	第 11 章 占領下の日本 第 12 章 高度成長の時代 第 13 章 激動する世界と 日本	戦後の国際秩序を踏まえ、占領政策及び戦後の民主化政策について考察する。冷戦の開始から経済大国への道までの流れを理解する。		教科書 資料集 ワーク	

教科 社会 科目 共通ゼミ

授業科目	社会ゼミ (共通)	単位数	2 単位	履修形態	必修 ・ 選択
履修学年	高校 3 年 I 組	コース	普通科		
教科書	詳説日本史 B 改訂版 山川出版社	副教材	ワーク・資料集		
授業概要	日本の歴史を諸資料に基づき、地理的条件や世界の歴史と関連付けながら理解させ、現代の諸課題を歴史的視点から考察し、国際社会に主体的に生きる自覚と資質を養う。				
授業内容 および 到達目標	単 元	目 標		教 材	
1 学 期	第 9 章 近代国家の成立	国際社会に組み込まれるという国際環境の変化に着目して、開国から明治維新に至るまでの過程を社会、経済面での変化と合わせて考察する。		教科書 資料集 ワーク	
		立憲国家の成立から日露戦争に至るまでの一連の流れを考察する。		教科書 資料集 ワーク	
2 学 期	第 10 章 二つの世界大戦 とアジア	第一次世界大戦前後の政治の動向及び対外政策の推移について、政党政治の発展や日本の中国進出の状況を踏まえて考察する。その後の国際社会の状況についても考察する。		教科書 資料集 ワーク	
		日中戦争の勃発から太平洋戦争の突入にいたる過程について、国民生活の変化や諸統制に着目して全体主義的な国家体制の進展を考察する。戦後の世界秩序についても考察する。		教科書 資料集 ワーク	
3 学 期	第 11 章 占領下の日本 第 12 章 高度成長の時代 第 13 章 激動する世界と 日本	戦後の国際秩序を踏まえ、占領政策及び戦後の民主化政策について考察する。冷戦の開始から経済大国への道までの流れを理解する。		教科書 資料集 ワーク	

教 科 社会科(公民) 科 目 現代社会

授業科目	現代社会	単位数	4 単位	履修形態	必修
履修学年	高校 3 年 普通科	コース			
教科書	実教出版 最新 現代社会	副教材	第一学習社 最新現代社会資料集 最新 現代社会演習ノート		
授業概要	一年間を通じて、現在、世界・日本の中で起こっている様々な問題を理解することで一人の地球人としてどんな行動ができるのか考察する。				
授業内容 および 到達目標	単元	目標	教材		
	第 1 部	現代社会における諸課題，特に生命，情報，環境を扱う中で，社会の在り方を考察する基盤としての幸福，正義，公正などの枠組みについて理解する。 ・生命，情報，環境などを中心に現代社会に対する関心を高め，いかに生きるかを主体的に考察することの大切さを自覚する。	教科書、準拠ワーク		
	第 2 部	・人権の保障，国民主権，議会制民主主義，権力分立，法の支配など民主政治の基本原則などについて理解を深める ・政治参加の重要性と民主社会において自ら生きる倫理について自覚を深め，主権者としての意識を身に付ける。	教科書、準拠ワーク		
	第 3 部	・日本経済の現状がどのように成り立っているのか理解を深める。 ・日本の雇用，労働，社会保障について理解を深めるとともに今後の在り方について考察する。	教科書、準拠ワーク		

教 科 数 学

科 目 数 学 II

授業科目	数学選択ゼミ	単位数	2 単位	履修形態	必修 ・ 選択
履修学年	3 年	コース	普通科		
教科書	数研出版 数学 II		副教 材	REPEAT 数学 II はぎ取り式 練習ドリル 数学 II	
授業概要	<p>この授業では 2 年次に完了しなかった①指数関数・対数関数、②微分・積分の 2 つの単元を扱います。いずれの内容も初めて登場する新しい概念であるので丁寧な理解を促していきます。</p> <p>また、教科書の内容が終了し次第、入試対策を進めていきます。</p>				
授業内容 および 到達目標	単 元	目 標		教材	
	1 学期	指数関数 対数関数	<p>①指数を正の整数から有理数へ拡張する意義を理解し、指数法則を用いて計算をすることができるようになる。</p> <p>②指数関数の値の変化の仕方やグラフの特徴を理解する。</p> <p>③対数の意味とその基本的な性質について理解し、その計算ができるようになる。</p> <p>④対数関数の値の変化の仕方やグラフの特徴を理解する。</p>		チャート式
		微分・積分	<p>①微分係数や導関数の意味について理解し、それらを求められるようになる。</p> <p>②導関数を用いて極大極小や関数の増減を調べ、グラフの概形を書くことができる。</p> <p>③不定積分や定積分の意味を理解し、それらを用いて原始関数そのものや、関数のグラフが作る図形の面積を求められるようになる。</p>		
	2 学期	模試や入試の過去問を通じて、より実践的な入試力を身に付ける。			
	3 学期	入試に必要な単元の学力の定着だけでなく、時間配分なども意識した入試力を身に付ける。			

教 科 数 学

科 目 数 学 共 通 ゼ ミ

授業科目	数学共通ゼミ	単位数	1 単位	履修形態	必修・選択	
履修学年	3 年	コース	普通科			
教科書	数研出版 数学 I ・ 数学 A ・ 数学 II ・ 数学 B		副教 材	チャート式問題集 3 5 日完成 大学入学 入学共通テスト対策 数学 I A II B		
授業概要	数学共通ゼミでは、数学 II と並行履修となります。通常の授業では扱いづらい模試の問題や応用問題を含め、数学的な物の見方考え方を鍛えるを試みます。					
授業内容 および 到達目標	単 元	目 標			教材	
	1 学期	指数関数 対数関数	①指数を正の整数から有理数へ拡張する意義を理解し、指数法則を用いて計算をすることができるようになる。 ②指数関数の値の変化の仕方やグラフの特徴を理解する。 ③対数の意味とその基本的な性質について理解し、その計算ができるようになる。 ④対数関数の値の変化の仕方やグラフの特徴を理解する。			チャート式
		微分・積分	①微分係数や導関数の意味について理解し、それらを求められるようになる。 ②導関数を用いて極大極小や関数の増減を調べ、グラフの概形を書くことができる。 ③不定積分や定積分の意味を理解し、それらを用いて原始関数そのものや、関数のグラフが作る図形の面積を求められるようになる。			
	2 学期		模試や入試の過去問を通じて、より実践的な入試力を身に付ける。			
	3 学期		入試に必要な単元の学力の定着だけでなく、時間配分なども意識した入試力を身に付ける。			

教科 保健体育

科目 体育

授業科目	体育	単位数	3単位	履修形態	○必修 ・ 選択
履修学年	高校3年	コース	普通科		
教科書	なし	副教材	アクティブスポーツ 大修館書店		
授業概要	自己の状況に応じて体力の向上を図る能力を育て、公正、協力、責任などに対する意欲を高め、生涯スポーツの実現を目指す。				
授業内容 および 到達目標	単 元	目 標			教 材
	1 学 期	体育理論	現代のスポーツの特徴について理解できるようにする。		
		体ほぐし運動	運動を通して、自己の体に関心を持ち、自分や仲間 の状態に気づくことができるようにする。		
		新体力テスト	持久走を含む8種目 Aランクを目標		
		水泳	自由形・平泳ぎ・背泳ぎの3泳法の個々の能力に 合った目標タイムを設定し記録向上に向けた練習 を進める。		
		バスケットボール	ドリブル、パス、シュートの技術向上を図り、よ り高度な試合展開ができるようにする。		
	2 学 期	ダンス	創作の質を高め、ダンスの技術の向上と自己表現 の楽しさを味わう。		
		器械運動	柔軟性を高め、多様な技を組み合わせた演技をし、 成功した時の喜びを味わう。		
		体育理論	現代のスポーツの特徴について理解できるように する。		
		新体力テスト	持久走を含む8種目 Aランクを目標		
	3 学 期	サッカー	チームでの連携を図り、より高度な試合展開がで きるようにする。		
武道		相手の動きの変化に応じて、多様な技への連絡を 用いて高度な試合展開ができるようにする。			

教 科 芸 術 科 目 音 楽

授業科目	音楽 I	単位数	1 単位	履修形態	必修 ・ 選択
履修学年	高校 3 年	コース	I C T 科 ・ 普通科		
教科書	教育芸術社		副教材		
授業概要	歌唱、器楽、鑑賞などの音楽の諸活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の多様な音楽、音楽文化と深くかかわる。				
授業内容 および 到達目標	単元	目標			教材
1 学 期	楽典・ギター	コードの種類を覚え、和音の織りなす美しさを味わう。			ギター
	創作アンサンブル	歌、ギター、リコーダー、鍵盤ハーモニカ、グロックンなどを使い、どのパートをどの楽器で演奏するのがふさわしいか考えながら、自分たちでアンサンブルで演奏する。			星野源「うちで踊ろう」
	アンサンブルを楽しもう	声や楽器を組み合わせる演奏したり、創作を通して、それらに必要な技能を高め、イメージをもって創造的に表現する。			島人ぬ宝
	民族と音楽（1） 日本のこころ	音楽の諸活動を通して、日本の様々な音楽に触れ、その良さや美しさを理解する。			椰子の実
2 学 期	民族と音楽（2） 世界の旅	歌唱や鑑賞を通して、世界の音楽の種類や特徴を文化的背景とかがわらせて理解し、その良さを味わう。			おおシャンゼリゼ
	劇と音楽	ストーリーと音楽のつながりを感じ、音楽の役割について考える。			美女と野獣 Memory
3 学 期	合唱	合唱音楽を体験し、他者との調和を意識して歌うとともに、表現形態の特徴や表現上の効果を生かして歌う技能を身に付ける。			次の空へ

授業科目	美 術	単位数	1 単位	履修形態	必修 ・ 選択
履修学年	高校 3 年	コース	ICT 科 ・ 普通科		
教科書	美術 I		副教材		
授業概要	制作作品や鑑賞を通して表現する喜びに触れ、日常で使う美術に対する興味・関心を高める。				
授業内容 および 到達目標		単元	目 標	教 材	
	1 学 期	レタリング	<ul style="list-style-type: none"> ・明朝体、ゴシック体の違いを知ることができる。 ・「城」「あ」を、お手本通りに書くことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習プリント ・教科書 	
		ポスターコンクール	<ul style="list-style-type: none"> ・ポスターの題材から制作意図、伝える相手を考えることができる。 ・絵と文字を組み合わせる時間内に完成させることができる。 ・鑑賞活動に積極的に参加することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・鉛筆 ・画用紙 ・アクリル絵の具 ・色鉛筆 ・タブレット 	
2 学 期 ・ 3 学 期	木彫時計	<ul style="list-style-type: none"> ・時計の実用性も大切に、彫りを意識してデザインすることができる。 ・彫刻刀を使い制作ができる。 ・作品に合う色を付けることができる。 ・鑑賞を通して、他者の表現を受け入れるとともに、自己の視野を広げることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・鉛筆 ・学習プリント ・木彫時計 ・彫刻刀 ・アクリル絵の具 		

教 科 芸 術 科 目 書 道 I

令和5年度 シラバス

授業科目	芸選 書道	単位数	1 単位	履修形態	必修 ・ 選択
履修学年	高3年	科	ICT科・普通科		
教科書	書道1 東京書籍	副教材			
授業概要	書道の諸活動を通して書写能力を高め、表現と鑑賞の基礎的な能力と態度を育てるとともに書を愛好する心情を養う。				
授業内容 および 到達目標	単元	目標			教材
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 漢字 〔隸書・篆書〕 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 隸書の基本点画（波磔）を学ぶ ・ 草書用の筆運筆法と字形の取り方を理解する ・ 隸書・草書・臨書を通じて表現の多様さを体得する 			教科書 60～63P <ul style="list-style-type: none"> ・ 竹簡 ・ 木簡 ・ 曹全碑 ・ 乙瑛碑 教科書 58～59P・真草千字文
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 仮名 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 二年次の復習 ・ 古筆の理解 ・ 構成美の理解 			教科書 70～97P <ul style="list-style-type: none"> ・ 蓬萊切 ・ 高野切第三種
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 漢字仮名交じりの書 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 書風と墨色の変化を理解する ・ 古典・古筆の倣書をする ・ 漢字と仮名の調和を図る 			教科書 98～114P
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 実用書 細字 般若心経 ・ まとめ 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 楷書・行書・草書の三体を知る ・ 縦書き横書きのまとめ方 ・ 書の変遷を理解する 			資料による (書道史年表)

教科 外国語 科目 英語表現Ⅱ

授業科目	英語表現Ⅱ	単位数	2単位	履修形態	必修・選択
履修学年	高校3年 普通科	コース			
教科書	Vivid English Expression II	副教材			
授業概要	英文法を正しく理解し、表現できる。				
授業内容 および 到達目標		単 元	目 標	教 材	
	1 学期	時制 完了形	英文法を正しく理解することができる。 英単語を理解し、書くことができる。 英文を正確に表現することができる。 文法を理解し、正しい選択をすることができる。	Vivid English Expression II	
	2 学期	助動詞 受動態 不定詞 動名詞 分詞 関係詞	英文法を正しく理解することができる。 英文法を理解した上で、正しく正確に解答することができる。 英単語を正確に日本語に、日本語を英単語にすることができる。 日本語を見て、英文を表現することができる。 文法を理解し、正しい選択をすることができる。	Vivid English Expression II	
	3 学期	比較 仮定法 さまざまな表現	英文法を正しく正確に理解することができ、その上で、正しく解答することができる。 英単語を日本語に、日本語を英単語にすることができる。 日本語を見て、英文を表現することができる。 文法を理解し、正しい選択をすることができる。	Vivid English Expression II	

教 科 英 語 科 目 ゼ ミ

授業科目	ゼミナール英語	単位数	4 単位	履修形態	(必修)・選択
履修学年	高校 3 年 普通科	コース			
教科書	大学入試問題 大学入学共通テスト 英語 大学入学共通テスト対策リスニング	副教材	速読英単語 10 分速読ドリル 英語構文 9 0		
授業概要	大学入学共通テスト対策として問題演習を中心に、既習の文法事項の復習と定着を図り、語彙力、読解力、リスニング力といった総合的な英語力向上を図りながら大学入学共通テストに必要な能力をバランスよく強化する。英語検定の取得に向けて対策も行う。				
授業内容	単 元	目 標	教 材		
および 到達目標	1 学期	英単語 速読 構文 リスニング演習	既習の文法事項を正確に理解し定着させる。 語彙力、読解力、リスニング力の向上を図る。	速読英単語 10 分速読ドリル 英語構文 9 0	
	2 学期	英単語 速読 構文 リスニング演習	既習の文法事項を正確に理解し定着させる。 語彙力、読解力、リスニング力の向上を図る。	速読英単語 10 分速読ドリル 英語構文 9 0	
	3 学期	英単語 速読 構文 リスニング演習 入試問題演習	大学入学共通テストに向けた実践的な力を養う。 語彙力、読解力、リスニング力の向上を図る。	速読英単語 10 分速読ドリル 英語構文 9 0 共通テスト予想問題	

教 科 国 語 科 目 国 語 ゼ ミ 選 択

授業科目	国語ゼミ	単位数	2単位	履修形態	必修・ 選択
履修学年	高校3年 普通科	コース			
教科書	マスターノート（志望理由書）	副教材	スタディーサポート 速読・要約ダブルワークス 現代文テーマ別頻出課題文集		
授業概要	受験対策講座。問題文に対する〈ポイント確認〉と〈全体把握〉を解いていくことで、要点把握の基礎的な力と、現代文を読むプロセスに慣れる。また、様々な現代の課題（テーマ）の問題文に触れることで、「問題文を読んで解答を書く」だけでなく、自分の考えや大学での研究テーマを考えるきっかけとし、推薦入試のための志望理由書や学習計画書の題材として活用する。				
授業内容 および 到達目標		単 元	目 標	教 材	
	1 学 期	志望理由書 スタディーサポート 模試対策 探究的読書	自分の目標を定める 受験への戦略を立てる 自分の位置を知る 現代社会の課題を知る	マスターノート スタディーサポート 進研模試	
	2 学 期	志望理由書/要約演習 模試対策 共通テスト過去問	自分の意見を効果的に伝える 様々なテーマを文章を読み、現代社会の問題への様々なアプローチを知り、視野や考えを広げる。 文章を正確に読み取り、問いに対して正確に答えるトレーニングをすることで、対話力をつける。	頻出テーマ集問題集 進研模試過去問 共通テスト過去問	
	3 学 期	共通テスト対策	基礎的知識（語彙・漢字・古典文法など）の確認	共通テスト	

教 科 数 学

科 目 数 学 選 択 ゼ ミ

授業科目	数学選択ゼミ	単位数	2 単位	履修形態	必修 ・ 選択
履修学年	3 年	コース	普通科		
教科書	数研出版 数学 I ・ 数学 A ・ 数学 II ・ 数学 B	副教 材	チャート式問題集 3 5 日完成 大学入学 入学共通テスト対策 数学 I A II B		
授業概要	選択ゼミでは共通ゼミ同様に教科書の内容を進めるというよりも、既習事項の復習に重点を置きながら入試対策を行っていきます。また、記述式の入試対策も行っていきます。				
授業内容 および 到達目標		単 元	目 標		教材
	1 学 期		数学 I から順に復習を進め、個々の進路志望に応じた学力を身に付ける。 応用問題の中に含まれる基本事項にも触れながら、より深い理解を目指す。		チャート式
	2 学 期		模試や入試の過去問を通じて、より実践的な入試力を身に付ける。		
	3 学 期		入試に必要な単元の学力の定着だけでなく、時間配分なども意識した入試力を身に付ける。		

令和 5 年度普通科高校 3 年 社会（選択ゼミ）シラバス

授業科目	選択ゼミ	単位数	4 単位	履修形態	必修
履修学年	高校 3 年 普通科	コース			
教科書	実教出版 最新 現代社会	副教材	第一学習社 最新現代社会資料集 最新 現代社会演習ノート		
授業概要	一年間を通じて、現在、世界・日本の中で起こっている様々な問題を理解することで一人の地球人としてどんな行動ができるのか考察する。				
授業内容 および 到達目標	単元	目標	教材		
	1 学 期	第 1 部	現代社会における諸課題，特に生命，情報，環境を扱う中で，社会の在り方を考察する基盤としての幸福，正義，公正などの枠組みについて理解する。 ・生命，情報，環境などを中心に現代社会に対する関心を高め，いかに生きるかを主体的に考察することの大切さを自覚する。		教科書、準拠ワーク
	2 学 期	第 2 部	・人権の保障，国民主権，議会制民主主義，権力分立，法の支配など民主政治の基本原則などについて理解を深める ・政治参加の重要性と民主社会において自ら生きる倫理について自覚を深め，主権者としての意識を身に付ける。		教科書、準拠ワーク
	3 学 期	第 3 部	・日本経済の現状がどのように成り立っているのか理解を深める。 ・日本の雇用，労働，社会保障について理解を深めるとともに今後の在り方について考察する。		教科書、準拠ワーク

教 科 理 科 科 目 理 科 ゼ ミ

授業科目	理科ゼミ		単位数	2 単位	履修形態	選択必修
履修学年	3 年		コース	普通科		
教科書	第一学習社 改訂高等学校生物基礎 東京書籍 新編化学基礎		副教材	第一学習社 セミナー生物基礎 第一学習社 プロGRESS化学基礎		
授業概要	生物基礎・化学基礎の知識をさらに深め、大学入試に対応できる知識を身につけます。					
授業内容		単 元	目 標			教 材
および 到達目標	1	生物基礎	教科書の復習と問題演習を行い、基礎学力を向上させる。模擬試験や入試問題の演習を行い応用力を高める。			教科書 問題集
	2	化学基礎	教科書の復習と問題演習を行い、基礎学力を向上させる。模擬試験や入試問題の演習を行い応用力を高める。			教科書 問題集 インターネット
	3	生物基礎・化学基礎	教科書の復習と問題演習を行い、基礎学力を向上させる。模擬試験や入試問題の演習を行い応用力を高める。			教科書 問題集